

学校・家庭・地域をつなぐ

# くりっパ。

CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER

第11号

平成12(2000)年 1月21日発行 広島県教育委員会



## 義務教育改革ビジョン

# 子どもの成長

# 地域で見守る



地域の明日を  
ささえる子ども  
だからね。

みんなが子育てを  
応援してくれる  
から安心。

学校もしっかり  
しなくっちゃ。

あいさつが  
基本だよ。

体験で学ぶことも  
たくさん  
あるんだよ。

## 学校、家庭、地域 みんなで子どもを育てるために。

24時間いつでも、どなたでも——ネットでコミュニケーション

### ホームページの主な内容

教育長ホームページ「ホットライン教育ひろしま」では、引き続き教育行政に対する意見を募集しています。教育改革などに関する情報提供も今後さらに充実させて、皆さんのアクセスをお待ちしています。

- トップページ ●意見記入ページ→様式にしたがって簡単に記入できます。
- 意見の広場→皆さんからいただいた意見を紹介しています。
- 教育委員会の主な施策紹介→教育改革の取組みや県民意識調査の結果などの情報提供を行っています。
- 関係機関へのリンク集→広島県ホームページに接続して県政情報を見たり、文部省ホームページで新学習指導要領など最新教育情報にアクセスできます。

ご意見などは、広島県政もみじファックスや郵送でも受け付けています。

【教育長ホームページ】 <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/>  
 【県政もみじファックス】 FAX082(224)1122 ボックス番号80034  
 【郵 送】 〒730-8514 広島市中区基町9-42  
 広島県教育委員会管理部総務課 宛  
 「ホットライン」と明記してください。

# 新しい学習指導要領で 高校も変わります。

—平成15年度入学者からスタート—

## ポイントは「特色ある 高等学校づくり」

学校ごとに特色ある教育を展開し、生徒たちがイキイキと自分にあった勉強ができるよう、学習指導要領が変わります。この新しい学習指導要領の趣旨をできるだけ早く取り入れるため、来年度から移行措置がとられます。



具体的には

### 学校設定教科・ 科目の設置

平成  
12年度  
から

学習指導要領で定められた教科や科目以外にも、地域や学校の特色、生徒の状況などに応じて、それぞれの高校が独自の教科や科目を設置できるようになります。

### 柔軟な 時間割の編成

平成  
12年度  
から

実験を行う理科では75分授業、日々の習熟の必要な外国語では25分授業を毎日行うなど、教科・科目の内容や学び方の特徴に応じて各学校が授業時間を工夫できます。また、特定の時期や学期に集中して授業を行うこともできます。

学校が独自に教科・  
科目を設置できます。

授業時間も  
独自に工夫できます。

自ら学び自ら考える  
力を育てます。

生徒が選んで学べる  
科目が増えます。

### 総合的な学習の 時間の新設

平成  
12年度  
から

国際理解、情報、環境、福祉・健康などについて、教科の枠を超えて総合的に考察したり、生徒が自らの興味・関心、進路などに応じて設定したテーマについて探究する時間で。

### 選択学習の幅の 一層の拡大

平成  
15年度  
入学者から

共通に学習する必修科目の単位数が減少するとともに、選択科目の単位数が拡大し、生徒が選択して学習できる幅がこれまで以上に拡大します。



ちょっと心配……

必修が選択になったり教える内容を減らしたりして、学力が下がったらどうしよう……？



完全学校週5日制の実施にともない、卒業に必要な単位数の総計は80単位以上から74単位以上に減りますが、選択できる科目が増えて、自分の興味・関心や将来の進路に応じた科目をこれまで以上に深く高度に学ぶことができるようになります。



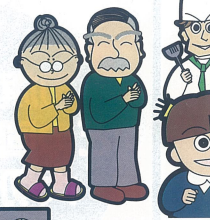
学力のレベルが現在より下がる心配はありません。

## 各プロジェクトの 主な取り組み

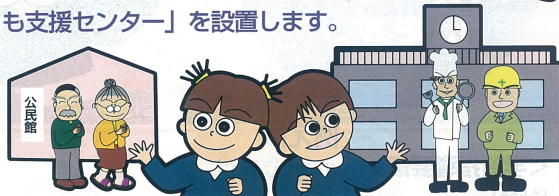
### 1 「学校に新しい風」推

学校と地域が垣根なしに行き来し、地域ぐるみで子どもをつくります。

- 学校ボランティアの情報を整備・提供します。



- 学校運営について校長に助言をする学校評議員制度を導入します。
- 保護者や地域の人々が気軽に集まる「子ども支援センター」を設置します。



- インターネットなどを使って学校の情報を積極的に公開します。

### 2 「世界と結ぶHeiwaネット」 推進プロジェクト

Hiroshima Educational Internet Wide Areaネットワーク=インターネットを活用した広島県の教育情報のネットワーク

情報化時代に対応できる教育をめざします。

- インターネットを活用できる環境を学校に整備します。



# 8つのプ

- 情報化に対応する教職員の研修を充実します。

### 3 「未来をひらく教職員づくり」 推進プロジェクト

保護者や地域の皆さんに信頼される学校をつくるために、教職員が研修する機会をこれまで以上に充実します。



- 経験に応じた教職員の研修を充実します。
- 希望する教職員には、ボランティア体験や企業・大学への派遣など研修の機会を拡充します。
- 研修や情報交流の自主的な取り組みを推進します。
- 情報化などに対応してもっと研修したいという教職員のために教育センターを整備します。
- 評価制度のあり方や学校組織の活性化などについて研究し、人事管理をこれまで以上に適正化します。
- 教職員のメンタルケアを推進します。



### 4 「わがまちの教育改革」推進プロシ

市町村教育委員会の特色ある活動を支援します。

- 市町村独自の教育改革に向けた主体的な取り組みを支援します。
- 市町村教育委員会どうしの連携を推進します。
- 通学区域制度づくりを推進します。
- 市町村を支援します。

## 推進プロジェクト

の成長を見守れるような開かれた学校



## 5 「確かな学力を子どもたちに」 推進プロジェクト

子どもたちが基礎的な学力を身につけられるような施策を実施します。

- 総合的な学習や多様な選択教科の開設により一人一人の子どもに応じた指導を進めます。
- 9年間を見通したカリキュラムをつくるなど、小中連携教育を進めます。
- 子どもたちの基礎学力の定着を図るための環境をととのえます。
- 読書タイムなどを設け、読書活動をととして子どもたちの思考力、読解力を育てます。



- 中高一貫教育についての研究を支援します。
- 指導事例集をつくるなど学習上配慮が必要な子どもに対する指導を充実します。

義務教育改革ビジョン

21 ひろしま教育プラン

未来へかける新たなかけ橋

## 学校が変わります。

そのために

県も、地域も、知恵と力と心を合わせてください。

平成12年度から3年計画で

## プロジェクトが動き始めます。

義務教育改革ビジョンは

これからの広島県の義務教育の柱となるものです。

昨年8月に出された「広島県義務教育改革推進協議会」の最終報告などに基づき策定したのが、義務教育改革ビジョンです。



換える場所を設置し、教職研修を支援します。



メンタルヘルス対策を進めます。

## プロジェクト

の弾力化などの新しいシステムを導入します。

充実する教育事務所を充実します。

## 6 「体育・健康、スポーツ」 推進プロジェクト

子どもの健康の増進、体力の向上をめざして、学校と地域が連携した活動を展開します。

- 子どもたちが自ら取り組む体育・健康、スポーツを推進します。
- 学校体育・スポーツ活動に外部指導者の協力を得るなど地域との連携を進めます。

## 7 「生き生き交流・のびのび体験活動」 推進プロジェクト

地域の特性を生かした体験活動や実物にふれる体験活動などとおして豊かな心をはぐくむことをめざします。



- 地域特性を生かした体験活動・ボランティア活動を推進します。
- 広島交響楽団、広島東洋カープやサンフレッチェ広島などのプロを学校・地域に派遣し子どもたちの心に響く体験を充実します。
- 盲・ろう・養護学校との交流を進め、お互いに理解しあう心を育てます。

## 8 「心のふれあい」 推進プロジェクト

学校・家庭・地域が一体となって、いわゆる「学級崩壊」やいじめ、問題行動、不登校などの課題に取り組むため、生徒指導、道徳教育、地域ぐるみの運動などを推進します。

- 非常勤講師を活用するなどして「学級崩壊」に対応する学校の取組みを支援します。
- いじめ、問題行動、不登校などに対応するために生徒指導を充実します。
- スクールカウンセラーや「心の教室相談員」などを学校に配置し教育相談を充実します。
- 学校生活になじめない子どもの相談に応じるために適応指導教室を充実します。
- 道徳教育の充実を図ります。
- 人権教育の充実を図ります。
- 「あいさつ運動」など子どもたちに豊かな心をはぐくむための地域ぐるみの運動を支援します。
- 家庭の教育力の向上をめざします。

